



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 エスケー化研株式会社
コード番号 4628 URL <http://www.sk-kaken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤井 實

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長代理

(氏名) 竹内 正博

TEL 072-621-7720

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	44,779	△0.0	6,046	11.0	3,945	△24.5	2,766	△20.7
28年3月期第2四半期	44,781	2.9	5,448	△4.2	5,225	△22.7	3,489	△21.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 689百万円 (△80.8%) 28年3月期第2四半期 3,587百万円 (△8.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	204.86	—
28年3月期第2四半期	255.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	108,807	89,249	82.0	6,614.53
28年3月期	110,737	89,630	80.9	6,633.31

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 89,249百万円 28年3月期 89,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	8.0	13,000	8.9	13,300	22.9	9,040	26.6	669.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	15,673,885 株	28年3月期	15,673,885 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	2,180,964 株	28年3月期	2,161,715 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	13,505,794 株	28年3月期2Q	13,671,557 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(会計方針の変更)	3
(2) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀の継続した金融緩和においても、また円高による輸出低迷等々、個人消費も盛り上がりには欠け、国内景気の低成長が続いています。

建築塗料業界におきましては、公共投資、耐震改修促進法による公共・民間建物の改修需要の拡大、首都圏を中心とした大規模再開発が予想されておりますが、一方、建築現場の労務者不足による工事の遅れ、需給バランスの崩れ、建築費・人件費の高騰等、厳しい市場環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、引き続き、新築市場だけでなく膨大な住宅ストックを抱えるリニューアル市場において、当社の技術革新による製品、超耐久・超低汚染塗料、環境問題に対応した省エネタイプの遮熱塗料等の各種機能性塗料、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗材や耐火被覆・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は447億79百万円（前年同四半期比0.0%減）となりました。利益面におきましては、営業利益が60億46百万円（同11.0%増）、経常利益は為替変動の影響等により、39億45百万円（同24.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、27億66百万円（同20.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①建築仕上塗材事業

建築仕上塗材事業におきましては、新築需要が減少いたしました。主にリニューアル市場において超耐久性塗料や超低汚染機能で差別化された省エネタイプの遮熱塗料等の販売を行い、売上高は410億17百万円（同0.8%減）と前四半期連結累計期間に比べて3億22百万円の減収となりました。セグメント利益は66億83百万円（同5.8%増）と前四半期連結累計期間に比べて3億66百万円の増益となりました。

②耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、大都市再開発地域における受注の拡大により、売上高は27億70百万円（同20.3%増）と前四半期連結累計期間に比べて4億68百万円の増収となりました。セグメント利益は3億25百万円（同54.9%増）と前四半期連結累計期間に比べて1億15百万円の増益となりました。

③その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は9億91百万円（同12.9%減）と前四半期連結累計期間に比べて1億47百万円の減収となりました。セグメント利益は1億59百万円（同52.9%増）と前四半期連結累計期間に比べて54百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて19億29百万円減少し、1,088億7百万円（前連結会計年度末比1.7%減）となりました。

減少した主なものは、受取手形及び売掛金13億5百万円（同6.1%減）、原材料及び貯蔵品3億37百万円（同8.0%減）であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて15億48百万円減少し、195億58百万円（前連結会計年度末比7.3%減）となりました。

減少した主なものは、支払手形及び買掛金3億87百万円（同6.5%減）、賞与引当金3億41百万円（同22.8%減）、未払金3億12百万円（同5.7%減）であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて3億81百万円減少し、892億49百万円（前連結会計年度末比0.4%減）となりました。

減少した主なものは、為替換算調整勘定20億91百万円、増加した主なものは、四半期純利益を含む利益剰余金18億88百万円（同2.1%増）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、計画通り推移しており、平成28年5月10日に公表しました平成29年3月期の連結業績予想通期に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(2) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,681	61,696
受取手形及び売掛金	21,252	19,946
商品及び製品	2,207	2,174
仕掛品	980	1,025
未成工事支出金	122	227
原材料及び貯蔵品	4,236	3,899
繰延税金資産	722	521
その他	441	503
貸倒引当金	△17	△46
流動資産合計	91,627	89,948
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,821	4,596
機械装置及び運搬具(純額)	940	780
土地	8,376	8,305
建設仮勘定	46	64
その他(純額)	97	83
有形固定資産合計	14,281	13,830
無形固定資産	1,140	998
投資その他の資産		
投資有価証券	11	11
繰延税金資産	263	259
退職給付に係る資産	489	519
その他	3,079	3,378
貸倒引当金	△156	△138
投資その他の資産合計	3,687	4,030
固定資産合計	19,109	18,859
資産合計	110,737	108,807

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,933	5,546
短期借入金	3,030	3,030
未払金	5,494	5,182
未払法人税等	1,350	1,106
賞与引当金	1,500	1,158
役員賞与引当金	87	43
製品保証引当金	40	40
その他	1,372	1,112
流動負債合計	18,809	17,220
固定負債		
繰延税金負債	37	33
役員退職慰労引当金	1,079	1,094
退職給付に係る負債	74	76
その他	1,105	1,133
固定負債合計	2,296	2,337
負債合計	21,106	19,558
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
利益剰余金	91,241	93,130
自己株式	△9,205	△9,398
株主資本合計	87,835	89,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	1,886	△204
退職給付に係る調整累計額	△91	△77
その他の包括利益累計額合計	1,795	△281
純資産合計	89,630	89,249
負債純資産合計	110,737	108,807

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	44,781	44,779
売上原価	31,072	30,563
売上総利益	13,708	14,216
販売費及び一般管理費	8,259	8,169
営業利益	5,448	6,046
営業外収益		
受取利息	154	128
受取配当金	0	0
仕入割引	38	35
雑収入	29	52
営業外収益合計	222	216
営業外費用		
支払利息	10	13
売上割引	0	0
為替差損	430	2,302
雑損失	4	1
営業外費用合計	446	2,317
経常利益	5,225	3,945
税金等調整前四半期純利益	5,225	3,945
法人税、住民税及び事業税	1,584	979
法人税等調整額	151	199
法人税等合計	1,735	1,178
四半期純利益	3,489	2,766
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,489	2,766

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	3,489	2,766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	95	△2,091
退職給付に係る調整額	2	14
その他の包括利益合計	98	△2,076
四半期包括利益	3,587	689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,587	689
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,225	3,945
減価償却費	297	275
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15	31
賞与引当金の増減額(△は減少)	△253	△337
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△42	△43
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10	2
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	14	14
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△2	0
受取利息及び受取配当金	△154	△128
支払利息	10	13
為替差損益(△は益)	720	2,134
固定資産除売却損益(△は益)	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	△179	758
たな卸資産の増減額(△は増加)	△93	△184
仕入債務の増減額(△は減少)	504	△43
その他	△832	△645
小計	5,210	5,792
利息及び配当金の受取額	102	117
利息の支払額	△11	△12
法人税等の支払額	△1,775	△1,288
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,526	4,609
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△25,362	△27,878
定期預金の払戻による収入	15,645	21,624
固定資産の取得による支出	△348	△195
固定資産の売却による収入	0	0
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△80	△195
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,145	△6,645
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,030	2,030
短期借入金の返済による支出	△30	△2,030
自己株式の取得による支出	△1,244	△192
配当金の支払額	△889	△877
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,133	△1,069
現金及び現金同等物に係る換算差額	△83	△843
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,835	△3,949
現金及び現金同等物の期首残高	30,461	37,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,625	33,467

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年6月2日開催の取締役会決議に基づき、自己株式3,000株、平成28年8月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式15,000株及び当第2四半期連結累計期間において単元未満株式1,249株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1億92百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が93億98百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	41,339	2,302	43,642	1,139	44,781	—	44,781
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	0	0	△0	—
計	41,339	2,302	43,642	1,139	44,781	△0	44,781
セグメント利益	6,316	209	6,526	104	6,630	△1,182	5,448

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,182百万円、セグメント間取引消去0百万円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	41,017	2,770	43,788	991	44,779	—	44,779
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	1	1	△1	—
計	41,018	2,770	43,788	992	44,781	△1	44,779
セグメント利益	6,683	325	7,008	159	7,167	△1,120	6,046

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,121百万円、セグメント間取引消去0百万円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。